

令和6年度しまね社会貢献基金クラウドファンディング事業報告シート

団体名	島根半島四十二浦巡り再発見研究会
事業名	ビジターセンター一畑薬師拡充整備事業
事業費(うち支援額)	2,889,412 円 (809,000 円)



■事業目的（250文字以内）

かつての一畑パークの施設がバス停に活用されている建物の一部を借り受けて改修し、展示場を拡充整備し、四十二浦巡りの最終訪問地である一畑薬師参拝者、また一般の一畑薬師参拝者もその半数は県外の人であり、それら訪問者に島根半島の四十二浦巡礼とその浦々の神社等歴史文化を紹介して、関心を深めたい。島根半島四十二浦巡りマップの拡大図を展示し、デジタルサイネージを整備し、島根半島の浦々の風景写真・絵・動画を通じて、行ってみたくなる浦々の名所・ジオサイト等の散歩道を紹介し、観光振興に貢献し地域振興につなげる拠点として整備した。

■事業内容（350文字以内）

県内外の訪問者に、子供の遠足・高齢者の訪問先として、四十二浦巡りマップの拡大図を展示し、四十二浦の浦々、小泉八雲の訪問先の紹介・八雲琴の展示、島根半島特産品の案内など四十二浦巡りとジオパークをひろく周知する。研究会で刊行したガイドブックの写真等を展示し、土日・祝日には会員が島根半島のガイドと販売に取り組む。研究会が制作した「神話とジオの散歩道 島根町編・鹿島町編・一畑薬師編」、また、故関和彦研究座長が4年間にわたり紹介した「うらうらとゆく」の断片、風土記に見える飯南町琴引き神社における伝承の須佐之男命が大国主命に授けたという八雲琴伝承の会が保存する明治時代に製作された「八雲琴」の演奏風景の映像などを広く紹介する。

■事業成果と今後の展望（450文字以内）

島根半島を浦々の祭礼、小泉八雲の訪問地、県外の画家が描いた浦々の風景、出雲の民話10選、ジオパーク等様々な角度で紹介する。また松江・出雲の観光協会が制作した観光パンフレットにより観光名所を案内して、希望があれば現地案内をするため、当面土日に研究会員がガイド員として駐在している。現在3名が交代で取り組んでいるが、状況を見てさらに充実するよう取り組む。出雲国風土記に見える薬草の椿油を使用したスキんクリーム、椿チョコ、2000万年前の島根半島の化石に発見されたクロモジのお茶・ぜんざいなどの販売を促進する。また、浦々の町おこし事業を提案するため、ツバキ・クロモジの栽培・収穫などについて提案・助言する。ビジターセンターの電気代、ガイド員派遣のために交通費を確保する必要があるため、ガイドブック・お茶など販売することが必要不可欠であり、県外客が半数余りの一畑薬師参拝客をリピーター化するなど、島根半島の旅を広めることが出来るかが課題であり、可能性は高いので、会員の禊塩、汐汲みの竹筒の製造・販売など様々に取り組みを進めたい。